

# 富山大学 学報



(題字 大井信一 学長)

第300号

## 目 次

関係法令.....2	人事異動.....12
学内規則.....2	学内諸報.....12
富山大学教育学部規則の一部改正.....2	叙位・叙勲.....12
富山大学における動物実験に関する指針の制定...4	学内レクリエーションく見学小旅行(文化部会)...12
諸会議.....5	海外渡航者.....13
学事.....6	職員消息.....14
昭和64年度富山大学学生募集要項.....6	主要行事.....14

関係法令

省 令

○学校教育法施行規則の一部を改正する省令（文部38） 10・8

○人事院規則 9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（人事院 9-17-20） 10・1

規 則

○人事院規則10-5（職員の放射線障害の防止）の一部を改正する人事院規則（人事院10-5-1） 10・1

○人事院規則 9-55（特地勤務手当等）の一部を改正する人事院規則（人事院 9-55-12） 10・1

○人事院規則 9-6（俸給の調整額）の一部を改正する人事院規則（人事院 9-6-11） 10・1

○人事院規則 1-4（現行の法律、命令及び規則の廃止）の一部を改正する人事院規則（人事院 1-4-6） 10・3

○人事院規則 9-17（俸給の特別調整額）の一部を改正する人事院規則（人事院 9-17-21） 10・20

学 内 規 則

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和63年10月21日

富山大学長 大 井 信 一

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

第3条中「、別に」を「、富山大学教養部規則の」に改める。

第10条の前の見出し及び同条中「、転学科」を「、転課程」に改める。

第11条から第13条までの規定中「、転学科」を「転課程」に改める。

別表 I を次のように改める。（別添のとおり）

別表 X 中

養護学校教員養成課程	養護学校教諭1級普通免許状及び小学校教諭2級普通免許状又は中学校教諭2級普通免許状	を
養護学校教員養成課程	養護学校教諭1級普通免許状	に

改める。

附 則

この規則は、昭和63年10月21日から施行し、昭和63年4月1日から適用する。

別 表 I

授業 科の区分		小学校教員 養成課程		中学校教員 養成課程		養護学校教員 養成課程			幼稚園 教員養 成課程	情 報 教 育 課 程	
		教育心理学 教育心理学	教科専攻	甲教科 専攻	乙教科 専攻	第一類	第二類				
							甲教科	乙教科			
専 門 教 育 科	専攻科目		16	50	42		26	22	12		
	基本 科目	専攻以外の教 科につき1教 科各2単位	12 音楽・図画工 作・体育のう ち2以上の教 科を含む	10 音楽 図画 工作 体育 のうち2以上 の教科を含む			8 音楽・図画工 作・体育のう ち1以上の教 科を含む	(二教科)	(二教科)		音楽・図画 工作・体育 を各4単位
		選 択	4				4				
	計		16	26	50	42	12	26	22		18
	教 育 科	教材研究	16	16			12 6教科各2単位 以上(音楽・ 図画工作・体 育のうち2科 目以上含む)				
		教科教育法			3 (1教科)			3(1教科)			
		教育原理	4	4	4		4	4			4
		教育心理	4	4	4		4	4			4
		道德教育の研究	2	2	2		2	2			
		教育実習	4	4	3		4	3			4
選 択		16	6	2							
計		46	36	18		26	16		12		
特殊教育	(別表IVによる)					25	25				
幼稚園教育	(別表Vによる)								30		
情報教育	(別表VIによる)								50		
計						25	25		30	50	
自由選 択		22	22	16	24	21	17	21	24	24	
特別 研究		専攻教科につき		専攻科目につき		専攻教科につき			専攻教科につき	10	
合 計		84		84		84			84	84	

- 備考 1 小学校教員養成課程では、音楽・図画工作・体育3教科について基本科目各2単位を履修しなければならない。
- 2 養護学校教員養成課程  
第一類は小学校教諭普通免許状を取得する課程である。  
第二類は中学校教諭普通免許状を取得する課程である。
- 3 幼稚園教員養成課程では、音楽・図画工作・体育3教科について基本科目各4単位を修得しなければならない。

▶ 富山大学教育学部規則の改正理由

- 1 一般教育課程における外国語科目の履修方法の変更に伴い、所要事項を改める。
- 2 その他、字句等の整理を行う。

## 富山大学における動物実験に関する指針の制定

富山大学における動物実験に関する指針を次のとおり制定する。

昭和63年10月21日

富山大学長 大井 信一

### 富山大学における動物実験に関する指針

#### 1 目 的

この指針は、富山大学（以下「本学」という。）において動物実験を計画し、実施する際に遵守すべき事項を示すことにより、科学的にはもとより、動物福祉の観点からも適正な動物実験の実施を促すことを目的とする。

#### 2 適用範囲

この指針は、本学において実施するほ乳類及び鳥類を供試動物とするすべての動物実験に適用する。

#### 3 動物実験委員会の設置

動物実験を実施する部局の長は、動物実験に必要な指導助言を行わせるため、動物実験委員会を置かなければならない。

#### 4 実験計画の立案

(1) 実験者は、動物実験の範囲を研究目的に必要な最小限度にとどめるため、実験目的に適した供試動物の選択及び実験方法について、代替法を含めて検討しなければならない。

(2) 実験者は、必要に応じて、実験動物の専門家の意見を求めたり、部局に置かれた動物実験委員会の指導助言を求め、有効適切な実験を行うよう努めるものとする。

(3) 実験者は、動物実験を実施しようとするときは、動物実験計画書を作成し、動物実験委員会に提出しなければならない。

#### 5 実験動物の選択

実験者は、供試動物の選択に当たっては、実験目的に適した動物種の選定、実験成績の精度や再現性を左右する供試動物の数、遺伝学的特性、微生物学的特性及び飼育条件等を考慮しなければならない。また、必要に応じ供試動物の検疫を実施しなければならない。

#### 6 実験動物の飼育管理

(1) 動物実験施設等の管理者、実験者及び飼育者は、協力して動物実験の施設及び設備の適切な維持管

理を行い、良好な環境条件の設定に努めなければならない。

(2) 管理者、実験者及び飼育者は、動物の健康及び安全に十分留意し、適切な給餌、給水等の飼育・管理に努めなければならない。

#### 7 実験実施上の配慮

実験者は、実験の実施に当たっては、実験動物に無用な苦痛を与えないよう麻酔薬の投与、保定等に留意するとともに、実験動物の状態を定期的に観察し、必要に応じ適切な処置を講じなければならない。

#### 8 実験終了後の処置

(1) 実験者は、実験を終了し、又は中断した動物については、速やかに致死量以上の麻酔薬の投与又は頸椎脱臼等によって、実験動物にできる限り苦痛を与えないようにしなければならない。

(2) 実験者は、実験動物の死体については、適切な処置を講じ、人の健康及び環境を損なわないようにしなければならない。

#### 9 安全管理等に特に注意を払う必要のある実験

管理者及び実験者は、物理的又は化学的に危険な物質若しくは病原体等を扱う動物実験については、人体への安全性を確保することはもとより、飼育環境の汚染により動物が障害を受けたり、実験結果のデータの信頼性が損なわれたりすることのないよう、十分に配慮しなければならない。また、実験施設の周囲の汚染防止については、施設・設備の状況を踏まえて特段の注意を払わなければならない。

#### 10 その他

本学において行われる、ほ乳類及び鳥類に属する動物以外の動物を用いる実験についても、この指針の趣旨を尊重するものとする。

### 附 則

この指針は、昭和63年10月21日から施行する。

動物実験計画書

昭和 年 月 日

〇〇学部動物実験委員会委員長 殿

申請者  
所属・職  
氏 名 印

1. 実験動物名

2. 動物実験の概要

3. 動物実験実施場所

4. 研究組織

	所 属	職 名	氏 名
主任研究者			
分担研究者			
"			
"			
"			

5. 動物実験実施中における実験動物の取扱い方について

(1)実験動物に対する処置(投与法,採血法等)

(2)実験終了後の実験動物の処置

(3)その他

▶ 富山大学における動物実験に関する指針の制定理由  
「大学等における動物実験について」(昭和62年5

月25日付け文学情第141号,文部省学術国際局長通知)に基づき,本学における動物実験の有効適切な実施を図るため,必要な事項を定める。

諸 会 議

昭和63年度第14回補導協議会 (10月7日)  
(審議事項)  
(1) 昭和63年度厚生補導研究会について  
(2) その他

(2) その他

昭和63年度第2回相互乗り入れ等検討小委員会 (10月7日)  
(審議事項)  
(1) 教養部と学部の相互乗り入れについて

昭和63年度第7回入学試験管理委員会・第7回入学者  
選抜方法研究委員会の合同委員会 (10月18日)  
(審議事項)  
(1) 富山大学入学者選抜健康診断判定基準について  
(2) 昭和64年度富山大学学生募集要項(案)について  
(3) 昭和64年度入学試験合否判定資料について



- (注) 1 人文学部の募集人員(190)には、帰国子女・社会人特別選抜の募集人員(若干名)を含む。  
 2 経済学部の募集人員(430)には、推薦入学の募集人員(昼間主コース19名以内、夜間主コース20名程度)及び帰国子女・社会人特別選抜の募集人員(帰国子女特別選抜若干名、社会人特別選抜20名程度)を含む。

なお、経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間の授業を履修するコースであり、「夜間主コース」とは、主として夜間の授業を履修するコースであるが、修業年限はともに4年である。

- 3 理学部の募集人員(200)には、物理学部の定員一部留保第2次募集人員(12)、帰国子女特別選抜の募集人員(全学科とも若干名)及び生物学科における社会人特別選抜の募集人員(若干名)を含む。  
 4 工学部の募集人員(342)には、推薦入学の募集人員(各学科とも入学定員の5%以内)を含む。  
**5 工学部の学科改組計画について**

工学部では、昭和64年度に現在の電気工学科及び電子工学科を「電子情報工学科」に改組することを計画している。また、この改組に伴って、募集人員も変更(30名の増員)することを計画している。

この計画は、関係法令の制定、昭和64年度予算の成立により確定するものであるもので、現在は未定である。詳細については、昭和64年度政府予算案の決定後(昭和64年1月上旬)に、「追加募集要項」で発表する予定であるので、工学部志願者は注意すること。

**2. 出 願 期 間**

昭和64年1月30日(月)から2月8日(水)まで。(期間内必着とする。)

受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日は正午までとし、日曜日は受け付けない。

なお、郵送の場合、2月6日(月)以前の発信局消印のある書留速達郵便に限り、出願期間後に到着しても受理する。

**3. 検 査 期 日**

昭和64年3月5日(日)

(教育学部小学校・養護学校・幼稚園教員養成課程の実技検査は3月6日(月))

**4. 出 願 要 領**

**ア 人文学部の出願について**

人文学部志願者は、学科を指定し、必ず第2志望まで付して出願すること。

**イ 教育学部の出願について**

教育学部志願者は、小学校教員養成課程、中学校教員養成課程の専攻教科、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程又は情報教育課程を指定して出願すること。

ただし、第2志望を付して出願することができるが一部制限がある。

(イ) 第2志望とすることができる課程、専攻教科は次のとおりである。

第1志望の課程(専攻)	第2志望とすることができる課程(専攻)
小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	小学校教員養成課程、養護学校教員養成課程及び幼稚園教員養成課程相互間の他に 国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語) 数学で受験する者は、中学校教育養成課程(数学、理科、家庭、技術) 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、数学、理科、家庭、技術、英語)
中学校教育養成課程 (国語、社会、英語)	国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語)相互間及び情報教育課程 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語)相互間の他に 中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術)及び情報教育課程
中学校教員養成課程 (数学、理科、家庭、技術)	数学で受験する者は、中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術)相互間及び情報教育課程 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術)相互間の他に 中学校教員養成課程(国語、社会、英語)及び情報教育課程
情 報 教 育 課 程	国語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、英語) 数学で受験する者は、中学校教員養成課程(数学、理科、家庭、技術) 英語で受験する者は、中学校教員養成課程(国語、社会、数学、理科、家庭、技術、英語)

(イ) 中学校教員養成課程（音楽，美術，保健体育）は，第2志望を付すことはできない。

ウ 経済学部の出願について

経済学部志願者は，昼・夜間主コース別に学科を指定し，必ず第3志望まで付して出願すること。

（注）異なるコースの学科を第2，第3志望とすることはできない。

エ 理学部の出願について

理学部志願者は，学科を指定して出願すること。第2志望は認めない。

オ 工学部の出願について

工学部志願者は，学科を指定して出願すること。第2志望は認めない。

5. 入学者の選抜方法

入学者の選抜は，共通第1次学力試験，第2次の学力検査等，調査書及び健康診断を総合して行う。

ただし，経済学部「夜間主コース」入学者の一般選抜は，共通第1次学力試験，調査書及び健康診断を総合して行う。

(1) 共通第1次学力試験の受験を要する教科

本学における共通第1次学力試験の受験を要する教科は次のとおりである。

学 部 ・ 学 科		受験を要する教科名	受験を要する教科数
人 文 学 部	教 育 学 部	国語，社会，数学，理科，外国語	5 教 科
経 済 学 部			
理 学 部	物 理 学 科	国語，社会，数学，理科，外国語	5 教 科
	化 学 科		
	生 物 学 科		
	地 球 学 科		
	数 学 科	国語，数学，理科，外国語	4 教 科
工 学 部		国語，数学，理科，外国語	4 教 科

(2) 第2次の学力検査等

本学が実施する第2次の学力検査の検査教科・科目等は次のとおりとし，高等学校卒業の学力程度を標準として出題する。

第2次の学力検査教科・科目等

学 部	学科・課程(専攻教科)	検 査 教 科 ・ 科 目	
		教 科 等	科 目
人文学部	人 文 学 科 語 学 文 学 科	国 語	国語Ⅰ・国語Ⅱ
		外 国 語	英語Ⅱ・英語ⅡB，ドイツ語，朝鮮語，中国語，ロシア語のうちから英語は2，その他は1科目選択
教育学部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	国 語	国語Ⅰ・国語Ⅱ
		数 学	
		外 国 語	英語Ⅱ・英語ⅡB
		芸 術	音楽実技
		保 健 体 育	美術実技 体育実技



教育学部	中学校教員養成課程	(国語, 社会, 英語)	国 語 外 国 語	国語 I ・ 国語 II 英語 II ・ 英語 II B	} 1 教科選択
		(数学, 理科, 家庭, 技術)	数 学 外 国 語	代数・幾何, 基礎解析 英語 II ・ 英語 II B	
		(音 楽)	芸 術	音楽実技	
		(美 術)	芸 術	美術実技	
		(保 健 体 育)	保健体育	体育実技	
	情 報 教 育 課 程	国 語 数 学 外 国 語	国語 I ・ 国語 II 代数・幾何, 基礎解析 英語 II ・ 英語 II B	} 1 教科選択	
経 済 学 部	昼コ 間   主ス	経 営 学 科 経 営 学 科 経 営 法 学 科	数 学 外 国 語		代数・幾何, 基礎解析 英語 II ・ 英語 II B 2 科目 又はドイツ語 1 科目選択
理 学 部	数 学 科	数 学	代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く。)		
	物 理 学 科	数 学 理 科	代数・幾何, 基礎解析 物理		
	化 学 科	数 学 理 科	代数・幾何, 基礎解析 化学		
	生 物 学 科	理 科 そ の 他	物理, 化学, 生物, 地学のうちから 1 科目選択 小論文〔自然科学を学ぶのに必要な論理的な思考能力並びに表現力などを問う。(高度な知識そのものを問うものではない。)]		
	地 球 科 学 科	数 学 外 国 語 理 科	代数・幾何, 基礎解析 英語 II ・ 英語 II B 物理, 化学, 生物, 地学のうちから 1 科目選択	} 1 教科選択	
工 学 部	電 気 工 学 科 機 械 工 学 科 生 産 機 械 工 学 科 電 子 工 学 科	数 学 理 科	代数・幾何, 基礎解析 物理		
	工 業 化 学 科	数 学 理 科	代数・幾何, 基礎解析 化学		
	金 属 工 学 科 化 学 工 学 科	数 学 理 科	代数・幾何, 基礎解析 物理, 化学のうちから 1 科目選択		

(注) 1 経済学部「夜間主コース」は、第2次の学力検査は課さない。

2 理学部数学科は、「数学」を2時限にわたって課す。第1限〔代数・幾何, 基礎解析〕10:00~11:30,  
第2限〔代数・幾何, 基礎解析, 微分・積分, 確率・統計(統計は除く。)] 12:30~14:00。

(3) 共通第1次学力試験及び第2次の学力検査等の配点

教科等		区 分	国語	社会	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	小計	合計
学部(学科・課程)											
人文学部		共通第1次 第2次	200 200	100	200	100	200 200			800 400	1,200
教 育 学 部	小学校教員養成課程 養護学校教員養成課程 幼稚園教員養成課程	共通第1次 第2次	200 (200)	100	200 (200)	100	200 (200)	200		800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (国語, 社会, 英語 専攻)	共通第1次 第2次	200 (400)	100	200	100	200 (400)			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (数学, 理科, 家庭, 技術専攻)	共通第1次 第2次	200	100	200 (400)	100	200 (400)			800 400	1,200
	中学校教員養成課程 (音学, 美術, 保健体育専攻)	共通第1次 第2次	200	100	200	100	200	400		800 400	1,200
	情報教育課程	共通第1次 第2次	200 (400)	100	200 (400)	100	200 (400)			800 400	1,200
経 済 学 部	経済学科, 経営学科, 経営法学科 (昼間主コース)	共通第1次 第2次	100	50	100 (300)	50	100 (300)			400 300	700
	経済学科, 経営学科, 経営法学科 (夜間主コース)	共通第1次	200	100	200	100	200			800	800
理 学 部	数 学 科	共通第1次 第2次	200		200 400	100	200			700 400	1,100
	物 理 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 400	200			800 600	1,400
	化 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 200	100 200	200			800 400	1,200
	生 物 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200	100 400	200		400	800 800	1,600
	地 球 科 学 科	共通第1次 第2次	200	100	200 (200)	100 200	200 (200)			800 400	1,200
工 学 部		共通第1次 第2次	100		100 200	100 200	100			400 400	800

6 検 査 場

学力検査及び健康診断(再診断)は、各学部ごとに次の検査場(予定)で行う。ただし、志願者数によっては検査場の変更(富山市内公立高等学校等)もあり得るが、**確定検査場及び検査場案内は、受験票等送付(2月14日頃)の際に通知する。**

人文学部検査場

人文学部及び教養部(富山市五福)……………(学力検査 健康診断)

教育学部検査場

教 育 学 部(富山市五福)……………(学力検査 健康診断  
実技検査)

経済学部検査場

経済学部及び教養部(富山市五福)……………(学力検査 健康診断)

理学部検査場

理 学 部(富山市五福)……………(学力検査 健康診断)

工学部検査場

工 学 部(富山市五福)……………(学力検査 健康診断)

**7 合格者発表**

合格者は、昭和64年3月22日(水)午前9時本学(富山市五福)に掲示し、かつ、本人に通知する。電話その他による問い合わせには一切応じない。

**8 推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜について**

本学では次のとおり推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜を行うが、細目については別に募集要項があるので、240円切手(速達の場合 440円)をはった返信用封筒〔角形3号(21.6cm×27.7cm)〕を同封のうえ「募集要項請求」(推薦入学、帰国子女特別選抜、社会人特別選抜の別を明記すること。)と朱書して請求すること。

## (1) 推薦入学実施学部等

経済学部(「昼間主コース」,「夜間主コース」),工学部

## (2) 帰国子女特別選抜実施学部等

人文学部,経済学部「昼間主コース」,理学部

## (3) 社会人特別選抜実施学部等

人文学部,経済学部「夜間主コース」,理学部(生物学科)

## (4) 出 願 期 間

昭和63年11月14日(月)~11月19日(土)正午必着

**9 理学部定員一部留保第2次募集について**

共通第1次学力試験の全教科を受験した者で、かつ、3月23日の時点でいずれの国公立大学にも合格していない者(いずれの国公立大学にも出願していない者を含む。)又は国公立大学に合格したが、3月27日までに当該大学に入学手続を行わない者に対し、本学理学部物理学科では3月23日(木)から定員一部留保第2次募集を行う。この細目については、別に募集要項があるので、240円切手(速達の場合 440円)をはった返信用封筒〔角形3号(21.6cm×27.7cm)〕を同封のうえ、「理学部第2次募集要項請求」と朱書して、請求すること。

なお、入学志願者は、出願期間が短いので、提出書類等は事前に準備しておくことが必要である。

出願期間 昭和64年3月23日(木)~3月27日(月)午後5時必着

**10 情報の提供(テレホンサービス)**

本学では、第2次学力検査等の出願状況及び欠員補充の方法等について、次のとおりテレホンサービスを行う。(本学への直接の問い合わせには応じない。)

(1) 出 願 状 況 昭和64年1月31日(火)~昭和64年2月9日(木)

(2) 欠員補充方法 昭和64年3月23日(木)~昭和64年3月27日(月)

(3) 欠員補充状況 昭和64年3月28日(火)~昭和64年3月31日(金)

電話番号 0764(31)3155(通話料は有料)





## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	教育学部 附属中学校	教頭	利波 宗雄	ユーゴスラビア, 西ドイツ, スイス, フランス, アメリカ 合衆国	諸外国の教育, 文化及び社会 等の諸事情の視察調査	63. 10. 17 } 63. 11. 9
	理学部	教授	松浦 郁也	ベルギー	ルーバンカソリック大学の客 員教授として研究に従事する ため	63. 10. 21 } 64. 1. 10
	理学部	助手	大石 雅寿	アメリカ合衆国	マウナケア天文台訪問及び国 際シンポジウムへの参加発表	63. 10. 1 } 63. 10. 8
	工学部	教授	小泉 邦雄	中華人民共和国	日中メカトロニクス・シンポ ジウムに出席及び研究資料の 収集	63. 10. 22 } 63. 11. 2
	工学部	教授	竹越 栄俊	大韓民国	第1回KSME-JSME熱・流 体工学会議に出席及び研究資 料の収集	63. 10. 31 } 63. 11. 5
	工学部	助手	平澤 良男	大韓民国	第1回KSME-JSME熱・流 体工学会議に出席及び研究資 料の収集	63. 10. 31 } 63. 11. 5
	教養部	教授	鈴木 邦雄	アメリカ合衆国, カナダ, 連合王国, オランダ, 西ドイ ツ, スペイン, イ タリア	昆虫類(特に鞘翅目, 蜻蛉目) の形態学的・系統分類学的研 究のため	63. 10. 1 } 64. 7. 31
海外研修旅行	理学部	教授	佐藤 清雄	中華人民共和国	「磁性材料の物理に関する国 際会議」の準備委員会への出 席及び磁気と超伝導に関する 研究打合せ	63. 10. 9 } 63. 10. 26

## 職員消息

## 《新任者住所》

## 理学部

助手 西村 克彦

(固体物理学)

## 《住所変更》

## 人文学部・理学部

文部事務官 須田 雅彦

**教育学部**

教 諭 青 山 仁

臨時用務員 見 角 光 子

**経済学部**

助 教 授 火 原 克 二

**理 学 部**

助 教 授 山 田 恭 司

**教 養 部**

文 部 事 務 官 奥 村 行 夫

主 要 行 事

**本 部**

9 月

26日～ 第39回文部省会計事務特別研修（於：国立

10月14日 オリンピック記念青少年総合センター）

10月3日 公開講座(外国で見たこと考えたこと)  
(11月4日まで)

3～4日 第46回東海・北陸地区国立大学長会議  
(於：グランドホテル浜松)

3～7日 学内物品定期格査

4～6日 体育系サークルリーダー研修会  
(於：山野スポーツセンター)

5日 昭和63年度国立学校事務電算化講習会  
(於：京都大学)

7日 健康診断(内科・尿・血圧)  
第2回相互乗入れ等検討小委員会  
第14回補導協議会

7～8日 第23回東海・北陸地区国立大学事務局長会  
議(於・愛知教育大学)

11日 中部地区健康安全担当研修会  
(於：名古屋合同庁舎)  
外国人留学生工場見学会(於：Y K K)

11～13日 給与実務担当者研修会  
(於：金沢合同庁舎大会議室)

12～14日 第9回全国国立大学学生部長協議会

(於：広島ガーデンパレス)

13～14日 第9回国立大学等研究協力部課長会議

(於：宇宙科学研究所臼田宇宙空間観測所)  
第21回41国立大学経理部長会議

(於：東京医科歯科大学)

第48回東海・北陸地区国立大学等施設部課  
長会議(於：富山医科薬科大学)

17日 第5回国際交流委員会留学生部会

17～21日 昭和63年度富山大学事務電算化要員養成研  
修会

18日 第7回入学試験管理委員会・第7回入学者  
選抜方法研究委員会の合同委員会

18～19日 昭和63年度東海・北陸地区国立学校等安全  
管理協議会(於：富山医科薬科大学)

18～20日 第26回全国厚生補導研究集会  
(於：静岡労政会館)

19～21日 北陸財務局共済組合監査  
昭和63年度国立学校等課長(事務長)補佐研  
修(於：東京大学)

20～21日 第24回国立41大学庶務部長会議  
(於：山口大学)

21日 第9回評議会  
健康診断(循環器)

第7回部局長懇談会  
22日 富山大学レクリエーション委員会  
文化部会見学小旅行

22～23日 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭  
(軽音楽部門)

24日 教務・補導関係事務検討分科会  
第5回事務協議会

25日 昭和63年度東海・北陸地区管理事務協議会  
(於：富山ステーションホテル)  
第15回補導協議会  
第3回学園ニュース編集委員会

26日 第47回東海・北陸地区国立学校等庶務部課  
長会議(於：富山大学)

27日 第2回学務関係係長会議  
第16回国立大学保健管理センター所長会議  
(於：なにわ会館)  
第6回国際交流委員会留学生部会

27～28日 第74回東海・北陸地区国立学校等会計部課  
長会議(於：岐阜大学)

29～30日 第38回北陸三県大学学生交歓芸術祭  
(邦楽部門)

## 教育学部

10月5日 昭和63年度物品定期検査

6日 附属学校運営委員会

7日 情報教育課程運営委員会

7～8日 日本教育大学協会北陸地区会理科研究協議  
会(於：信州大学)

12日 学部教務・補導合同委員会

学部補導委員会

学部教務委員会

13日 教授会

人事教授会

14～15日 日本教育大学協会北陸地区会国語科・書道  
科合同研究協議会(於：金沢大学)

18日 情報教育課程専門委員会  
教育実習終了

19日 学部補導委員会

人事教授会

20日 後学期授業開始

循環器検診

20～21日 昭和63年度北陸地区教員養成学部事務長協  
議会(於：金沢大学)

日本教育大学協会北陸地区会社会科部門研  
究協議会(於：富山大学)

日本教育大学協会北陸地区会音楽部門研究  
協議会(於：新潟大学)

全国国立大学附属学校連盟北信越地区協議  
会(於：富山市)

26～27日 日本教育大学協会北陸地区会保健体育科研  
究協議会(於：信州大学)

27日 紀要編集委員会

27～28日 昭和63年度秋季全国国立大学教育学部長会  
議(於：千葉大学)

28日 内科検診

28～29日 日本教育大学協会北陸地区会外国語部門研  
究協議会(於：金沢大学)

29～30日 日本教育大学協会北陸地区会教育学・教育  
心理学・特殊教育・幼児教育部門研究協議  
会(於：新潟大学)

31日～ 日本教育大学協会北陸地区会学長・副学長  
・学部長・学部教員合同会議(於：福井大  
学)

## 人文学部

10月3日 事務連絡会

4日 物品の定期検査

6日 係長会議

11日 学部教務委員会

教授会

人事教授会

大学院人文科学研究科委員会

12日 人文学部語学文学科移転後の建物利用打合  
せ

専門教育課程移行者オリエンテーション

13日 後学期授業開始

機種選定委員会

梶井元教授勲記・勲章伝達式(於：学部長  
室)

19日 15大学人文系学部事務長会議(於：愛媛大  
学)

20～21日 15大学人文系学部長会議(於：愛媛大学)

25日 学部入学者選抜方法検討委員会

26日 学部コース対抗ソフトボール大会

27日 係長会議

28日 学部補導委員会



### 経済学部

- 10月3日 卒業証書授与式  
 6日 物品定期検査  
 7日 転学科・転学部出願者の選考委員会  
 11日 学部補導委員会  
 各種委員選考委員会  
 12日 学部教務委員会  
 学部入学方法検討委員会  
 人事教授会  
 教授会  
 14日 専門教育課程移行者オリエンテーション  
 14～15日 国立11大学経済・経営学部教官懇談会  
 (於：香川大学)  
 17日 後学期授業開始  
 19日 論集委員会  
 財務委員会  
 20日 学部補導委員会  
 学部施設整備委員会  
 21日 循環器検診  
 学部将来構想検討委員会  
 26日 学部教務委員会  
 夜間主コース運営委員会  
 学部入学方法検討委員会  
 人事教授会  
 教授会  
 28日 内科検診

### 理学部

- 10月3日 事務連絡会  
 4日 物品の定期検査  
 6日 係長会議  
 11日 教授会  
 13日 専門教育課程移行者オリエンテーション  
 14日 後学期授業開始  
 15日 教職課程オリエンテーション  
 17日 廃水安全委員会  
 19日 人事教授会  
 学部補導委員会(持回り)  
 26日 学部入学試験改善委員会

- 27日 係長会議  
 国立22大学理学部長会議(於：学士会館)  
 28日 国立大学理学部長会議(於：学士会館)

### 工学部

- 10月3日 物品の定期検査  
 5～6日 第41回国立大学工学系事務長会議  
 (於：岩手大学)  
 11日 教授会、工学研究科委員会・専任教授会  
 学部教務委員会  
 12～13日 第12回国立大学47工学系学部長会議  
 (於：徳島大学)  
 13日 専門教育課程移行オリエンテーション  
 14日 後期授業開始  
 17日 事故対策委員会  
 19日 学部入学試験検討委員会  
 21日 学部補導委員会  
 24日 選考委員会  
 25～26日 第21回北陸信越地区国立大学工学部長会議  
 (於：長岡技術科学大学)  
 28日 係長連絡会  
 31日 事故対策委員会

### 教養部

- 10月3日 物品定期検査  
 4日 内地・在外研究員に関する委員会  
 補導委員会  
 7日 健康診断(内科・尿・血圧)  
 11日 人事教授会  
 教授会  
 15日 後学期授業開始  
 19日 補導委員会  
 将来計画委員会  
 20日 施設整備委員会  
 21日 図書委員会  
 27日 循環器検診  
 27～28日 12大学教養部長・事務長連絡会議  
 (於：愛媛大学)

### 附属図書館

- 10月3日 係長事務打合せ会  
 5日 係長事務打合せ会  
 7日 物品定期検査  
 11～13日 図書貸出点検  
 (保健管理センター、情報処理センター)  
 13日 図書館増築に伴う検討小委員会  
 17日 係長事務打合せ会  
 20～21日 昭和63年度北信越地区国立大学図書館研修会(於：富山医科薬科大学)  
 21日 職員健康診断(内科検診・尿検査・血压測定)  
 24日 係長事務打合せ会  
 26日 図書貸出点検(トリチウム科学センター)  
 26日 富山県図書館協会理事会(於：富山県立図書館)  
 27日 循環器検診  
 28日 図書館事務電算化ワーキング・グループ打合せ会

### 保健管理センター

- 10月7日 健康診断(事務局、学生部、トリチウム科学センター、保健管理センター、教養部の職員、男・女)



### 物品定期検査

- 19日 循環器検診(工学部、地域共同研究センターの職員、35才以上男・女)  
 20日 循環器検診(教育学部の職員、35才以上男・女)  
 21日 循環器検診(本部、経済学部、トリチウム科学センター、保健管理センターの職員、35才以上男・女)  
 健康診断(人文学部、理学部、附属図書館の職員、男・女)  
 25～26日 第26回全国大学保健管理研究集会  
 (於：京都市京都會館)  
 27日 循環器検診(人文学部、理学部、教養部、附属図書館の職員、35才以上男・女)  
 昭和63年度国立大学保健管理センター所長会議(於：大阪市なにわ會館)  
 28日 健康診断(教育学部、経済学部の職員、男・女)

### トリチウム科学センター

- 10月7日 物品定期検査  
 26日 長期帯出図書の点検

### 地域共同研究センター

- 10月28日 地域共同研究センター運営委員会

編集 富山大学庶務部庶務課  
 富山市五福3190  
 印刷所 あげぼの企画株式会社  
 富山市住吉町1丁目5-18  
 電話 (24) 1755代